手賀沼流域
協働調査結果(令和元年度)

手賀沼流域の各湧水地点で、令和元年度に実施した春季・冬季の湧出量とパックテストによる硝酸性窒素濃度調査結果の平均値をまとめました。
※(全15地点、No.10,14は欠番)

【参加団体】
我孫子市環境レンジャー、印西市環境推進市民会議、大津川をきれいにする会、鎌ヶ谷・大津川を清流にする会、亀成川を愛する会、白井環境ネットワークの会、白井の自然を考える会、七次台中学校
※五十音順

柏市、我孫子市、印西市、鎌ケ谷市、白井市、千葉県(事務局:環境生活部水質保全課)

“硝酸性窒素”とは…

硝酸性窒素は、水中では硝酸イオンとして存在しています。湧水の硝酸性窒素濃度が高い場合には、周辺の土壌等から、硝酸イオンが混入していると考えられます。硝酸イオンの負荷源としては、家畜のふん尿や生活排水に含まれるアンモニウムが酸化されたものや、農地の肥料等が考えられます。

地下水の環境基準(硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素)は10mg/L以下とされており、これを超えると好ましくありません。

湧水

春季の硝酸性窒素濃度が10mg/Lと高い値であった。

冬季の硝酸性窒素濃度が10mg/Lと高い値であった。

冬季の硝酸性窒素濃度が10mg/Lと高い値であった。

No.4 岡発戸(おかほっと) 滝不動(たきふどう)

No.5 都部(いちぶ) 谷津田(やつだ)

No.1 寺谷ツ(てらやつ)

No.2 名戸ヶ谷ビオトープ(なとがや)

No.3 塚崎(つかざき)

No.6 佐津間山王台(さつまさんのうだい)

No.7 佐津間字山ノ下(さつまあざやまのした)

No.11 大森下ノ辺田(おおもりしものへだ)

No.9 大森呑内(おおもりのみうち)

No.17 古新田川調整池(こしんでんがわちょうせいち)

No.13 名内字屋敷附(なうちあざやしきづけ)

No.16 名内字入谷(なうちあざいりや)

No.12 名内字下定戸谷(なうちあざしもじょうや)

No.15 平塚字榎台(ひらつかあざえのきだい)

凡　例

湧出量(L/min)
- ○ 1.0 未満
- ○ 1.0以上～5.0未満
- ○ 5.0以上～10.0未満
- ○ 10.0以上
- □ 湧出量測定不能地点
- 手賀沼流域界
- 下水道整備地域(～H26.3)

硝酸性窒素(mg/L)
- ○ 0.00以上～1.15未満
- ○ 1.15以上～2.30未満
- ○ 2.30以上～4.60未満
- ○ 4.60以上～7.00未満
- ○ 7.00以上
- □ 欠測地点
- 手賀沼流域水系
- 市町村界
- 水田

もっと知りたい人は…
手賀沼水環境保全協議会
http://www.tesuikyo.jp/

作成・発行:手賀沼水環境保全協議会(2020年7月)